

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 愛媛県 新居浜市立多喜浜小学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例: 小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒792-0893

愛媛県新居浜市多喜浜五丁目7番34号

E-mail thme-ad@esnet.ed.jp

Website http://takihama-e.esnet.ed.jp/cms/

幼児児童生徒数 男子 80 名 女子 53 名 合計 133 名

幼児・児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

本校は、多喜浜塩田の産業・文化遺産を教育資源として生かし、「多喜浜塩田を未来に伝えよう」というテーマを掲げ、地域の産業遺跡、伝統文化を継承する方々と連携しながら、子どもたちが地域のよさを実感し、その成果を踏まえて地域の未来像を描きながら、地域の産業・文化遺産を未来に伝える意義や方策について学ぶ。さらに、学習についての地域の理解を得るため、学習内容や成果を積極的に発信し、地域をベースとした持続可能な社会の担い手を育てる教育を実践する。そして、地域への誇り、地域の一員としての自覚を育てる。人と関わりながら、問題を解決する力を身に付ける。他の学校、関係団体との学習や交流を通じて、コミュニケーション能力を育てる。の3点を育てたい力として設定した。体験的な活動を積極的に取り入れながら学習活動を行い、保護者や地域、関係者を招いて発表会を行ったり、ホームページなどを利用して積極的に情報発信を行ったりするなど、地域を通して社会を学ばせることとする。

① 地域の伝統文化、文化遺産に係わる教育

6年 ともに生きる ～ふるさと多喜浜～

多喜浜塩田で使っていた道具や器を作るために誕生した多喜浜焼は、今も地域の方々によって引き継がれている。6年生は、実際に多喜浜焼制作に取り組むことによって、その素晴らしさを知り、伝統継承に努めている。

また、学習したことを発信する活動にも力を入れており、集大成としての塩田ウォーク後、これまでの塩田学習で学んだことをパンフレットにまとめ、塩の学習館を訪れる人に見てもらえるようにした。

② 地域の伝統文化、文化遺産に係わる教育

5年生は、毎年、多喜浜地区以外での塩作りの見学へ出かけており、今年度は7月に坂出市の「塩田資料館」と「日本海水」を訪れ、香川地域の塩田文化に触れたり、近代的な塩作りの様子を見学したりした。遠く離れた地域でも、多喜浜と同じように協力しながら塩作りに励んできた方々の思いに触れたり、近代的な取組を学習したりすることができた。また、3学期には塩田マイスターになろうということで、マイスターの前で発表を行い、学習成果を評価してもらっている。

③ 地域の伝統文化、文化遺産に係わる教育

4年生は、1学期に「多喜浜塩田の昔を知ろう」ということで、塩田資料館の見学へ行った。使われていた道具の説明を聞いて、作業の大変さを理解するとともに、「かしよい」の精神の尊さに気付いた。2学期は、塩の先生たちと共に塩づくりをした。地域の方とのふれあいも地域のことをよく知るための大切な活動である。3学期は、これまで学習したことを生かして、すごろくを作り、下級生とすごろくをしながら情報発信しているところである。



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

- 多喜浜塩田遺産を活用した地域づくりの歩み
 - とっておきの新居浜検定 公式テキストブック
 - めざせ！！新居浜ものしり博士
 - 補助教材「わたしたちの新居浜市」
 - 映像資料「多喜浜塩田」
 - 塩作り体験キット
 - 自作資料「塩田カルタ」
 - 塩の面白実験室
 - 水にうくものしずむもの
 - あまいみず からいみず
 - さとうとしお
 - 知って得する塩の知識
 - 塩 海からきた宝石
 - 塩のはなし
 - 海の水はどうしてしょっぱいの？
 - 塩の絵本
 - はんにんは塩水か？
 - 塩のちから なぜ塩がないと人は生きられないか
 - 塩・さとうの実験
 - 新居浜いいところ発見マップ
 - 塩の大研究
 - 塩のひみつ
 - 塩の物語
 - 塩の科学
 - お塩の山登り
 - 砂糖と塩の実験
 - 塩づくりとくらし
 - 塩で暮らすナチュラル・ライフ
 - 塩 地球からの贈り物
- <https://www.city.niihama.lg.jp/soshiki/takikou/3083.html>
<http://www.city.niihama.lg.jp/soshiki/takikou/3079.html>
<http://www.i-manabi.jp/system/regionals/regionals/ecode:1/80/view/4193>

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

1年生・2年生においては生活科を中心として、校内、学校周辺、校区を活動場所とし、体験的活動を積極的に取り入れながら生き物とのかかわりや、地域の人とのかかわりなどを学ぶ。また、「塩田カルタ」遊びなどを通して、中高学年につながる塩田学習の基礎の醸成を図る。

3年生・4年生は、総合的な学習の時間60時間をふるさと学習の時間にあて、地域の方の案内で「塩田ウォーク」行ったり、資料館での昔の塩田の様子や、そこで働く人々の仕事や道具・暮らしの見学をしたり、海水から塩を実際に作る塩づくり体験をしたりして、地域の人と関わりを深め、自分なりのテーマを決めて調べ、まとめる活動を行う。

5年生・6年生は、総合的な学習の時間60時間をふるさと学習の時間にあて、他県の塩田施設の見学、授業や学校行事等において、地域と連携し、現地への見学、関係者への取材などを通して体験的に学習活動を展開する。その成果を、保護者や地域の方を招いて、発表会を行う。また、ホームページなどを利用して、積極的に情報発信を行うなど、地域を通して社会を学び、考える活動を行う。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

新年度には、転入教職員に対し、塩田資料館建設推進委員会の地域の方々を講師として、多喜浜塩田の歴史や人々の暮らしについてお話を聞いたり、実際に塩づくりの体験を行ったりするなどして、児童が塩田学習をする前に研修を行っている。また、夏季休業中には、全教職員で研修会を開いている。さらに、地域、保護者、6年児童、教職員で枝条架の掛替作業を共同で行うなど、協働意識の向上を図っている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

各学期末に教職員による内部評価や学校評議員による評価を行い、目的、計画性、評価及び成果が達成されているかをチェックしている。また、学習の発表会を行ったときにも批評・助言をいただいている。

児童は、学年に応じて様々な体験活動を通して、ふるさと多喜浜やの素晴らしさについて知り、好きになることができている。また、製塩作業の中で培われた支え合い、助け合おうとする「かしよい」の精神を受け継いでいこうと、学校生活の中で合言葉のように様々な活動の中に取り入れられ、地域の方々との交流へと繋いでいる。

他のユネスコスクールとの情報交換や更なる交流により、私たちの学習を深めていきたい。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

低学年においては、活動の実際を授業公開で保護者や地域へ発信している。中学年においては、調べ、まとめたものを保護者や地域へ発表会をするなどして公開している。また、4年生は作成した「塩田すごろく」を3年生に発表したり、一緒にする活動を地域の方に公開したりしている。

6年生は、パンフレット作製を通してこれまでの学習をまとめたり、今後の自分の将来や、ふるさとへの思いなどについて地域の方に発表したりするなど、6年間学んできた「塩田学習」を振り返る会を開き、地域の方々との交流、絆を深めることができている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

校区には、塩田資料館建設推進委員会があり、学校のふるさと学習の取組については、児童への指導や、教職員研修、他地域の情報提供など、積極的に支援をしていただいている。また、同じく塩田で栄えた近隣の市町などへの見学などの交流を行っている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)

※チェック事項 2-4 に対応

現在のところ、他のユネスコスクールとの交流やネットワークの形成は行えていない。同じような塩田の歴史をもつ地域との交流は今後の課題である。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

本校には、流下式製塩の枝条架があり運転が行える。また、それを使い濃縮された灌水を使っての塩づくりが行える。これらの施設の運用には、地域の方々の熱意ある支援があり、児童との間には低学年の頃より深いつながりができている。このことは、児童の学校生活において、温かく見守られているという感謝の気持ちが育成されている。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

全校テーマ「多喜浜塩田を未来に伝えよう」のもと、ふるさと学習を実施することで、地域を通して社会を学ばせる。授業は、低学年「学級活動」の時間、中高学年「総合的な学習の時間」で行う。地域の伝統文化を継承する方々と連携し、地域での見学や瀬戸内沿岸の他地域の塩業との比較なども行い、関係者への取材などを通して体験的に多喜浜を見つめられるよう学習を展開する。その成果を各自でまとめ、3月に保護者や地域の方、関係者を招いて「塩の学習館」で発表会を行い、地域への誇り、地域の一員としての自覚を育てる。また、ホームページなどを利用して積極的に情報発信を行い、他のユネスコスクールとの交流も積極的に行う。

<活動内容>

低学年【地域遺産教育】

- 地域の伝統文化を継承する人々と交流し、地域の文化を知る。

中学年【地域遺産教育】

- 地域の伝統文化を継承する人々と交流し、塩づくりの体験を中心として、塩田について自分で調べるテーマを決めて調べ、その成果を発表する。

高学年【地域遺産教育】

- 地域の塩田遺産ガイドを、他校生や見学者に行う。また、多喜浜塩田を未来に伝えていくことについて考えるとともに、地域や社会発展の担い手として自らの将来について展望をもつなど総まとめを行う。